

令和5年 第11回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和5年 第11回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年11月15日(水) 13:40~15:00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

西田教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員

【事務局】

迫田教育局長

(企画総務課) 河野課長、砂田補佐、堀補佐、田中主幹、甲斐主査、中村主事

(学校教育課) 重盛課長

(学校施設課) 齋藤課長

(教育情報研修センター) 堀之内所長

(生涯学習課) 長田課長、津江主幹

(保健給食課) 弓削課長

(文化財課) 町田課長、古川指導主事

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第44号	令和5年度一般会計補正予算案について	教育局長 学校施設課長 教育情報研修センター所長 生涯学習課長 保健給食課長
議案第45号	宮崎市きよたけ児童文化センターの指定管理者の指定について	生涯学習課長
議案第46号	教育機関の廃止について	生涯学習課長
議案第47号	宮崎市交流センター条例等の一部改正について	生涯学習課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第25号	専決処分の報告について	保健給食課長

西田教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただ今から、第11回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はありません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、高峰教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
西田教育長	<p>それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>「(1) 教育長報告」ですが、こちらに記載のとおりです。</p> <p>3ページをご覧ください。11月1日、2日に「令和5年度第2回宮崎県都市教育長協議会」がありました。宮崎県内で毎年1回で行っていますが、今年は西都市で開催されました。</p> <p>会議の内容は、「役員の改選」や「全国都市教育長協議会における「令和7年度文教に関する国の施策並びに予算の陳情」について」等です。国もCOCOLOプランを出していますが、不登校関係の事業について、今以上に力を入れてほしいという意見を出したところでした。加えて、「令和6年度全国都市教育長協議会」「令和6年度九州都市教育長協議会」「令和6年度宮崎県都市教育長協議会」の予定について検討しました。</p> <p>教育行政の課題については、様々な意見があり、不登校についての意見が非常に多く出されています。他に、部活動の話もありました。</p> <p>2日目には、記紀の道を視察し、都萬神社から西都原の方に下り、西都市歴史民俗資料館を見学しました。</p> <p>続いて、11月9日に「令和5年度全国都市教育長協議会 第4回常任理事会・理事会」がありました。資料は4ページです。</p> <p>「役員の選任について」や「令和6年度文教に関する予算についての陳情について」の話がありました。来年度の定期総会・研究大会は、長崎県で開催予定です。理事会でも同様の話がありました。</p> <p>理事会の最後には、文部科学省の講話がありました。講話の中では、次期タブレット端末更新についての話がありました。タブレットが壊れた場合の予備台数として、15%プラスして、国からの補助があるとのことでした。また、次期学習指導要領では、タブレットを使った授業が当たり前になるため、その点を踏まえて実施していくようお話もありました。</p> <p>続いて、資料の2ページにお戻りください。「(2) 委員報告」ですが、こちらに記載のとおりです。</p> <p>はじめに、10月26日に行われた「宮崎県教育委員会との意見交換会」について、松尾代表教育委員からご報告をお願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>資料の5ページをご覧ください。10月26日に県電ホールで開催されました。各宮崎県の市町村教育委員会連合会の理事、宮崎県からは教育長をはじめ部局長、幹部が出席しました。今回は、「特別支援教育推進のため</p>

	<p>の条件整備について」や「部活動の適切な運営に向けた環境整備について」、「教育の情報化に対する支援の充実について」、「学校における働き方改革の推進及び教職員等の確保について」の4つのテーマについて、協議を行いました。</p> <p>各理事、各市町村それぞれの課題や悩みを要望を含めた形で、宮崎県教育委員会と意見交換をしました。非常に時間が足りないほど活発な意見が出されました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。続いて、資料の6ページをご覧ください。</p> <p>11月10日に行われた「令和5年度市町村教育委員会研究協議会 第4回」について、参加された松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員にそれぞれご感想を伺いたいと思います。では、まず、高峰教育委員から、感想をお願いします。</p>
高峰教育委員	<p>私は「学校における働き方改革について」の分科会に参加しました。宮崎市の取組を発表したところ、宮崎市の取組は、非常に素晴らしいと褒められる場面もありました。</p> <p>具体的には、令和元年12月に「宮崎市立小中学校における働き方改革アクションプラン」を出しています。早い時期から長期的な視野に立って、目標設定をし、具体的な取組を決めている点で、非常に高い評価をもらいました。</p> <p>加えて、昨年の「市広報みやざき」で、小中学校での働き方改革に関する記事を出しています。この取組については、見習いたいと感じている参加者が多く、「広く広報紙に出すことで、先生方の意識改革にもつながり、家庭、社会全体の意識改革になるのではないか。」と話をされていました。</p> <p>私は、就任して2ヶ月弱ですが、全国での宮崎市の立ち位置や進み具合を知ることができ、非常に勉強になりました。</p>
小林教育委員	<p>私は、「GIGAスクール構想について」の分科会に参加しました。</p> <p>「未来の教室」で描く宮崎市の教育戦略デザイン」の資料を見て、「組織的に取り組もうとする姿が非常に印象的だ。」という感想をもらいました。先ほどの高峰教育委員の話にもありましたが、宮崎市が非常に注目をされた分科会になりました。</p> <p>また、1人1台端末の持ち帰りについて、議論がありました。各自治体からは「具体的に何をしたらよいか。」「学校のWi-Fi環境が脆弱である。」等の報告がある中で、宮崎市は一步踏み込んだ視点で、取り組むことができているのではないかと認識しました。</p> <p>例えば、ソフトの利活用や授業を改善するための取組、自由進度学習、デジタル・シティズンシップ教育等です。宮崎市は、他の自治体で今後課題になりうるものに対して、検討する機会が多く設けられており、一步進んだ実践になるのではないかと思います。</p> <p>行政説明でも、「GIGAスクール構想」が3本柱の1つになっていまし</p>

	<p>た。また、教育長の話にもありましたが、予算措置についても、国が踏み込んで行っていくとのことでした。</p> <p>そのような点で、時代の流れに乗って、宮崎市のG I G Aスクール構想も花開くよう期待をし、参加しました。</p>
片山教育委員	<p>私は、「いじめ対策・不登校支援について」の分科会に参加しました。</p> <p>行政説明では、「働き方改革」「G I G Aスクール構想」「いじめ対策・不登校児童生徒への支援等」の3本柱を重点的に考えているとのことでした。説明の中で、「いじめの重大事態になっている背景については、いじめと認識していなかったケースが非常に多い。」という話が、非常に心に留まりました。重大事態が起こる前に気づくことができれば、重大事態に至らなかったのではないかという点に行きつくと思います。先生が子ども達をしっかりと見ることができていない背景を考えると「働き方改革」に繋がるのではないかと思いました。「余裕がない。」ということが多いと思いますが、働き方改革で生まれた時間が、先生達自身をケアする時間となり、その余裕が子ども達に繋がるとよいと思いました。</p> <p>分科会では、各グループでいじめ対策か不登校支援を決めて話し合いました。私たちのグループは、不登校支援について話をしました。話し合いでは、不登校児童生徒の現状で、学校内外の専門機関に繋がっていない児童生徒が約38%もいるという話を聞き、衝撃を受けました。私自身の勉強不足で、宮崎市はどのくらいの児童生徒が学校内外の専門機関に繋がっていないのかお伝え出来ませんでした。大津市教育委員会の教育委員の方からは、学校内外の専門機関に繋がっていない児童生徒は約10%であるとの話がありました。例えば、不登校児童生徒が「学校に行きたくない。しかし、学校に行かないとスクールカウンセラーと話ができない。」という場面になった際に、「学校ではない場所でも良い。希望するところに出向いて行く。」という取組です。私も経験がありますが、保護者が「学校に行きたくない。」と話をする、「学校に来てください。」と言われ、学校でないと対応が難しいことがあります。学校に抵抗がある生徒や保護者が多くおり、大津市教育委員会のように、先生や行政の方から外に出るとい取組は、話しやすい環境や繋がり等を作っていると思います。</p> <p>加えて、吹田市教育委員会の教育長からは、通うことへの壁があり、保護者が連れていくことができない場合、子ども達の足で通える地域の公民館や児童館を利用しているという話がありました。市全体で取組を行い、学校でなくても、子ども達がどこかと繋がり、見守る体制に取り組んでいるとのことでした。</p> <p>その話を聞き、最近「学校に行かなくてもよい。」という話が先行しているため、その点に対する議論がありますが、本質ではないと思っています。「学校に行くことを今は強く進めなくていい。」という本質をしっかりと理解している人が話すことが大切です。子ども達は、学校に行くことが</p>

	<p>できない理由があつて、行かなくなります。最終的に、自分で学校に行かない選択をした子ども達がいるということを忘れてはいけないと思います。居場所がなくなることは、大人にとっても苦痛です。本質をしっかりと見直していくことが一手であると思います。</p>
松尾代表教育委員	<p>皆さんが分科会についての話をされたので、私は会議の状況について話をします。</p> <p>行政説明を聞く中で、私が今回特に感じたことは、文部科学省の教育に対する考え方が踏み込んできているということです。特に、令和5年度においては、教育界にとって非常に激動の年であり、差し迫る教育問題が、待ったなしの状況であるということを強く認識されています。</p> <p>分科会のテーマの中にもあるように、「働き方改革」「部活動」「いじめ対策・不登校支援」「GIGAスクール構想」、いずれも待ったなしの状況で、本来であれば次年度に予算組みをするところを、補正予算を組み、審議をされてきたということでした。</p> <p>また、「緊急」「重点強化期間」等、力強く、今やらなければならないという言葉を使うことが増えてきたと感じています。今まで以上に、待ったなしの状況を国が打開しようとする動きを感じました。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、資料の2ページにお戻りください。「(3) 教育局長報告」ですが、報告案件はありません。</p> <p>続いて、「(4) 各課行事報告等」ですが、こちらに記載のとおりです。</p> <p>それでは、これまでの報告に対する質問や、各行事に参加された教育委員の方でお気づきになった点やこれからの課題、また感想等ありましたら、お願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>10月28日に、「JA共済小・中学生書道コンクール」の表彰式がありました。県内の小中学校からは、約4万2千点が出品されています。半紙の部は、小学校1年生から中学校3年までが対象で、各学年毎に全国大会に出品する1品が決まりました。条幅の部も、小学校1年から中学校3年までが対象です。</p> <p>半紙の部、条幅の部ともに、小学校1年生から6年生まで、宮崎市内の子ども達が独占をしました。素晴らしい快挙です。その中でも、突出しているのが広瀬北小学校です。半紙の部で、広瀬北小学校の児童が小学校1年生、小学校3年生、小学校6年生の学年で1位を取っています。加えて、条幅の部でも、小学校1年生、小学校5年生、小学校6年生で1位を取り、全国に出品されています。宮崎市の子供達が非常に活躍しています。</p>
西田教育長	<p>非常に素晴らしいことです。</p> <p>その他、意見等ありますか。</p>
教育委員	なし。
西田教育長	先ほどの片山教育委員の話にありましたが、文部科学省も学校に通うこ

	<p>とを弱く言っている訳ではありません。「他の場所に行く方が良い。」「学校に行ってほしいという気持ちは捨てた方が良い。」という話ではなく、一番は魅力ある学校づくりです。</p> <p>先日、教育情報研修センターが、「先生達にどのような研修をしてほしいか。」というアンケートをしました。保護者からは「子ども達の思いを受け止めてほしい。」「不登校についての勉強をしてほしい。」等の意見がありました。そのような背景もあり、学校自体の意味合いが薄れてくると感じているため、しっかりと取り組んでいきたいです。</p> <p>その他、意見等ありますか。</p>
片山教育委員	<p>先ほどの話と関連しますが、市町村教育委員会研究協議会に行く前に、中学3年生の不登校の子どもを持つ保護者から相談を受けました。「受験を考える際に、出席日数が少ないので、行ける高校が限られてくる。」との話を聞きました。その保護者は、様々な活動されている方で、選択肢を多く知っている方ですが、自分の子どもになると「学校に行ってほしい。」と言ってしまい、非常に苦しい思いをされたと聞きました。私も「学校に行かなくてもいい。」という選択を他の保護者に伝えることがあります。保護者は、自分がその立場になった時に苦しい思いをされたことについて、誰にも言えなかったのではないかと考えています。</p> <p>その子どもが通っている学校の先生の受験に関する知識や子どもに対しての向き合い方によって、変わってくるかもしれませんが、選択肢を与えることは非常に大事なことでと考えています。宮崎県には、私立学校や不登校の子ども達を受け入れてくれる学校もありますが、そのことを知らない保護者が多いです。学校の先生もその選択肢を知り、周知をしてほしいです。</p> <p>保護者にとって、子どもはかけがえのない存在です。学校に来ている子ども達だけではなく、不登校の子ども達へも様々な情報を提供してほしいです。選択肢があることで、救われる子ども、救われる保護者がいるのではないかと思います。学校に来ることができない子ども達の進路の選択肢に関しては、徹底的に周知をしてほしいです。</p> <p>加えて、スクールソーシャルワーカーの方からも相談を受けました。学校現場も非常に大変であるという話も聞いてます。全国的にスクールソーシャルワーカーの数の増加等が行われている中で、宮崎市として、「チーム学校」を学校の先生だけで捉えるのか、外部の方も入れて「チーム学校」にするのか、考えていけたらと良いと思います。</p> <p>例えば、病院はチームで動きます。医者が先頭で指示を出しますが、医者意見だけでは、上手くいかないこともあります。学校のスクールソーシャルワーカーにあたるメディカルソーシャルワーカーの存在が重要です。メディカルソーシャルワーカーが外部から来るのと内部にいるのでは、医者との信頼関係や信頼度が変わってくると思います。子ども達の1日1</p>

	<p>日は非常に貴重で、3年間はあっという間に経過します。「子ども達にとっての最善の利益を考えた時、スムーズに連携をするためには、どのようにチームを作り、支援をするべきか。」という点について、詳しく考えていたら良いと思います。外部の方でつぎはぎになっている病院で治療を受けたいか、チームが一丸となって様々な人の意見をもらうことのできる病院で治療を受けたいか、自分が病院に行った時を想像して下さい。どちらが適しているかということは、現場にいると分からなくなってしまうことがあります。現場ではない立ち位置から想像をしてみると分かりやすいと思います。</p> <p>様々な方から相談を受け、現場を見て感じたことです。予算もあり、難しい点もあると思いますが、私も一緒に考えていきたいと思っています。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>12月22日の総合教育会議でも、「宮崎市における不登校支援の在り方について」がテーマになるため、同様の話になると思います。今話を聞いて、事務局から何かありますか。</p>
重盛学校教育課長	<p>不登校の子ども達については、教育支援教室やフリースクールに関わっています。我々が非常に危機意識を持っているのは、学校内外の専門機関とつながっていない子ども達です。この子ども達をどのように支援をしていくかが大事であると考えています。</p> <p>先ほどの滋賀県の事例がありましたが、そのような支援をしていく必要があると思っています。片山教育委員の話にもありましたが、チームでの体制をどう整えていくかが大きな課題だと思います。</p> <p>進路に関する情報については、余りにも増えすぎており、先生によって差があるのではないかと思います。その点も含め、研究をしていきたいです。</p>
西田教育長	<p>その他、意見等ありますか。</p>
教育委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、「4 議事」に入らせていただきます。資料の7ページをご覧ください。本日は、議案が4件です。</p> <p>議案第44号「令和5年度一般会計補正予算案について」、議案第45号「宮崎市きよたけ児童文化センターの指定管理者の指定について」、議案第46号「教育機関の廃止について」、議案第47号「宮崎市交流センター条例等の一部改正について」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>加えて、報告が1件です。こちらについても、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。</p>

教育委員	異議なし。
西田教育長	それでは、これより非公開とします。
西田教育長	それでは、ここで非公開を解除します。 続いて、会次第「5 その他」に移らせていただきます。資料の14ページをご覧ください。「(1) 市立中学校における通知表評価・評定誤りについて」、事務局から説明をお願いします。
重盛学校教育課長	それでは、資料の15ページをご覧ください。 宮崎市内の中学校において、1学期の通知表を生徒に交付した際、全学年の「技術家庭科」の観点別評価と評定について、誤った評価・評定結果を通知していたことが分かりました。 本事案については、保護者の方から当該校に問い合わせがあり、発覚しました。当該校において、再度、評価と評定に誤りがないかを確認した結果、評定等が変更となった生徒数は、全校生徒386名中154人でした。 今後、このような事案が発生しないように、担当教科及び学年集団による組織的な確認を行ったり、管理職による点検を徹底させるなどの再発防止策を行っていくよう、学校に指導をしました。
西田教育長	ただいまの説明について、ご質問はございませんか。
教育委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、次に「(2) 授業者支援「宮崎歴史秘話ヒストミヤ! 2023-2024 第3回講座について」、事務局から説明をお願いします。
町田文化財課長	資料の16ページをご覧ください。授業者支援で「宮崎歴史秘話ヒストミヤ!」を年間4回開催しています。講座は、100分間です。「ヒストミヤ!」とは、ヒストリーとみやぎきをかけ合わせた造語です。 参加者は、宮崎市内の教職員と教職志望の大学生に絞り、実施しています。各回平均20名の参加があります。講師は、指導主事と文化財専門職員が務めます。前回は「関ヶ原の戦い」がテーマでした。宮崎県での東軍と西軍に分かれて行われた激しい戦いを紹介して、授業に活用してもらえる内容で構成しました。 12月9日は、第3回目の講座です。内容としては、「伊能忠敬が歩いた日向路」を計画しています。伊能忠敬も宮崎県に来て測量をしていたことを地図を用いて紹介する予定です。教育委員の皆様にもぜひ一度ご参加いただければと考えています。
西田教育長	ただいまの説明について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
西田教育長	続いて、資料に記載はありませんが、「児童クラブ拡充のためのプロジェクトチームについて」、事務局から説明をお願いします。
迫田教育局長	お手元に、昨日の宮崎日日新聞の記事を配付しています。 月曜日の市長定例記者会見で発表した内容です。放課後児童クラブの待

	<p>機児童等の課題を解決するために、プロジェクトチームを立ち上げました。構成員としては、生涯学習課2名のほか、企画総務課から1名、学校教育課から1名、市長部局から5名のメンバーで構成しています。待機児童の問題と開所時間の延長の問題を解決するために、構成されたチームです。</p> <p>課題としては、今年度待機児童が159名おり、待機児童が増えている点が挙げられます。また、現在児童クラブは、午前8時から午後6時に開設していますが、仕事が終わってからでは、午後6時に間に合わない保護者の方が多く、午後6時以降をできるだけ延長してほしいという要望がありました。加えて、夏休み中は、午前8時からでは仕事に間に合わないという意見がありました。</p> <p>様々な案を検討していましたが、今回は市長部局等の職員の力も借りて、早急に課題解決に取り組みたいと考えています。</p> <p>先ほど待機児童は159人と話をしましたが、特定の曜日しか利用できない子どもは待機児童に入らないため、隠れ待機児童も含めると300人ほどいるのではないかと考えています。</p> <p>来週月曜日に教育長からの辞令交付を受けて、20日からプロジェクトの活動を始めます。任期としては、来年の3月末までですが、来年度の予算に反映するためには、少なくとも1月までに方向性を決めなければなりません。1月までに方針を固め、施策に繋げていくことを目標にしています。</p>
西田教育長	ただいまの説明について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
西田教育長	その他、教育委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
教育委員	なし。
西田教育長	ないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	資料14ページをお願いします。 次回の定例教育委員会は、令和5年12月20日（水）13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています。
西田教育長	ただいま説明のありました日時で、委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。
教育委員	異議なし。
西田教育長	続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	11月16日から1月24日まで予定を掲載しています。 まず、11月25日は「第35回宮崎市民俗芸能まつり」が宮崎市民プラザで開催される予定です。 11月27日から12月13日にかけて、12月の宮崎市議会定例会が

	<p>開催予定です。</p> <p>12月12日は、「市町村教育委員と県教育委員との意見交換会」が予定されています。教育委員の皆様、出席をよろしくお願いいたします。</p> <p>12月15日は、「令和5年度 地域・家庭・学校と教育委員会との意見交換会」を予定しています。教育委員の皆様、出席をお願いします。</p> <p>12月20日は、次回の定例教育委員会です。</p> <p>12月22日は、「宮崎市総合教育会議」を予定しています。市長との意見交換の場になります。教育委員の皆様、出席をよろしくお願いいたします。</p> <p>1月24日は、1月の定例会を予定しています。</p>
西田教育長	ただいまの説明について、ご質問はありませんか。
教育委員	なし。
西田教育長	以上をもちまして、第11回定例会を終了します。